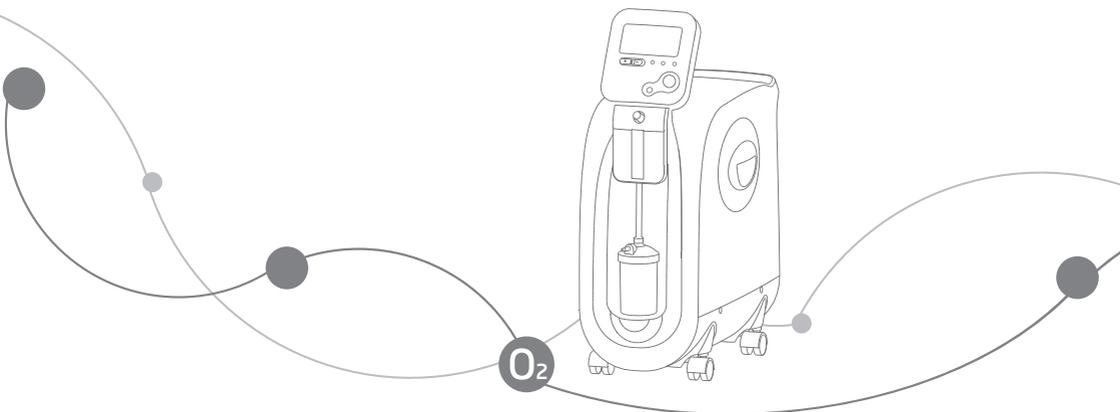


shenpix



シェンペクス酸素濃縮器 (CFOC-F)

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。

目 次

表示パネルの開け方は、9ページを参照

安全上の注意事項	1 - 4
商品の特徴	5 - 6
運搬方法	7 - 7
本体の各名称	8 - 8
取り付けと使用方法	9 - 14
メンテナンス	15 - 16
トラブルシューティング	17 - 19
その他注意事項	20 - 20
保証書	21 - 21

警告

停電や故障に備えて、常用されている方は、予備の酸素吸引器（例えば：酸素ポンプ、オキシジェンバッグ）をご用意ください。

本機は、常に予備の酸素吸引機を用意し、延命処置や生命維持にはご使用ならないでください。

設置の前に

- ・故障の原因となりますので、移動をする時は直立のまま移動をさせてください。
- ・AC100Vの定格電圧でご使用ください。
- ・修理技術者以外は、分解をしないでください。

配置場所

- ・本機をご使用の際は、使用環境に適したところでご使用ください。
移動の際には、キャスターをご使用ください。
- ・壁、家具及びカーテンなどから10cm以上離し、風通しの悪い場所には設置しないでください。

安全上の注意事項

- ・本機は熱、火気、湿気、極端な温度差のある環境を避けてください。
- ・本機の上に物を置かないでください。
- ・空気取り入れ口を塞いだり、空気取り入れ口が塞がれるような不安定な場所には絶対に設置しないでください。
細かいゴミなどが入らないように注意してください。
- ・排気口から温風が出ますので、可燃性の物は本機の下に敷かないでください。

使用上の注意

- ・本機をご使用の際は、火災を防ぐ為に細心の注意を払ってください。
また、ご使用中の喫煙はお止めください。マッチ及びライターや火の点いたタバコや火災の原因となる恐れのある物と同じ環境下には設置しないでください。
本機のある場所では、布などが容易に引火する可能性があります。
- ・短時間での電源を入切をせず、少なくとも3～5分間おいてください。
短時間でのこのような操作を行うと故障の原因となります。
- ・油類のあるところでご使用になられると濃縮酸素と反応して突然発火することがあります。
絶対に本機から離してください。
メーカーが推奨する潤滑剤以外はご使用にならないでください。

安全上の注意事項

メンテナンス

本機のメンテナンスや調整は許可を得ている者又は専門的な訓練を受けた者以外は行えません。メーカーが推奨する使用時間は30分以上です。スイッチの電源を頻繁に入切しますと本機の故障の原因となりますのでご注意ください。

電波障害について

多くの電子機器は、電波障害の影響を受けることがあります。無線電波を発している場所での本機のご使用にはご注意ください。

火傷、感電、火災及び怪我のリスクを避けるために

- ・入浴中のご使用は控えてください。定期的を使用する場合には、浴室から2.5m以上離れた別室に配置してください。
- ・濡れた状態で本機に触れないでください。
- ・水やその他の液体に触れるような場所での配置或いはご使用はしないでください。

安全上の注意事項

- ・濡れた部品を接続しないでください。そのような時は、直ぐに抜いてください。
- ・電源プラグをさしたままで、その場を離れないでください。
- ・本機ご使用の際は、本取扱説明書に従ってください。使用者本人又は他人がご使用になり、本機が合っていないと感じた時には、医師及び製造メーカーへ連絡をしてください。
- ・使用中に、子供や障害のある方が近くにいる場合には、細心の注意を払ってください。
- ・取扱説明書に従ってご使用ください。
- ・メーカーが推奨している部品、付属品以外のご使用は避けてください。
- ・本機を他の酸素濃縮器や酸素治療器と接続しないでください。
- ・いくつかの部品や加湿器は本機と合わない物があります。
- ・爆発の危険を伴う物を本機の近くで起動するのを避けてください。

商品の特徴

構造

- ・本機は主に、酸素濃縮器、流量計、加湿器で構成されています。
- ・安全なプラスチックキャビネット。
- ・累積使用時間：LCDで運転時間が表示されます。
- ・自動OFF機能等。
- ・断熱機能付き圧縮機により安全性を保証しています。

詳細

1. 推奨する最大流量：5L/min
2. 流量域：0.5～5L/min
3. 酸素濃度：90.0%～94.4%
4. 最大出力圧：20～50kPa (2.9psi±7.25psi)
5. 下図は、圧力がかかっていない状態での酸素流量による酸素濃度を表したグラフです(図1)。

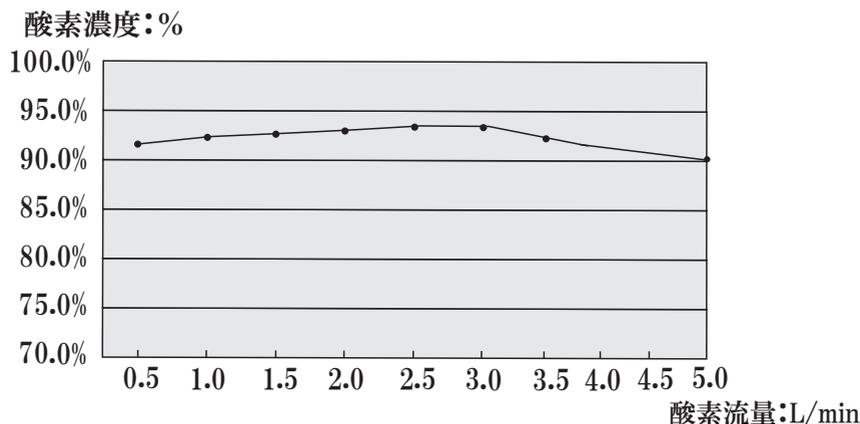


図 1

6. 安全弁が作動する圧力：250kPa±25kPa(36.25psi±3.63psi)
7. 運転音：<=53dB(A)
8. 供給電源：AC100V±10%、50/60Hz

商品の特徴

9. 入力電源:100V
10. 重量:26.5kg
11. 寸法:28.5cm(W)x54.5cm(D)x71.2cm(H)
12. 耐用使用時間:8,000時間
13. 標高1828mまでであれば酸素濃度に影響はありません。
1828mから4000mまでは、90%位の濃度になります。
14. 安全システム:
過電流又は停電の時には、自動的に停止します。
圧縮機が規定値を超え高温になった時は、自動的に停止します。
15. 動作環境:
適合温度:10°C~35°C
適合湿度:30%~75%
大気圧:860hPA~1060hPA(12.47psi~15.37psi)

注意:5°Cを下回る場所に保管する時は、ご使用前に適合動作温度下に4時間以上置いてからご使用ください。
16. 輸送と保管の環境:
適合温度:-20°C~+60°C
適合湿度:10%~93%、結露を避けてください。
大気圧:700hPA~1060hPA(10.15psi~15.37psi)

注意:本機を保管する際には、直射日光、腐食性ガスを避け、通気性の良い場所で保管をし、移動をする際には横倒しにしたり、衝撃を与えないようにしてください。

シェンペクス酸素濃縮器CFOC-F最大の特徴は、流量が多くても酸素濃度があまり低下せず安定していることです。ほとんどの濃縮器は、流量が毎分1~2リットル時に濃度は90~70%でも5リットル時には30~40%まで低下します。多流量時に、高濃度を維持するため濃縮性能を高め、パワーのあるコンプレッサーを使用していますので、若干運転音が高くなっていますのでご了承ください。

運搬方法

開 梱

- △ 注意：直ぐに使用する場合以外は、箱に入れて保管をしてください。
- ・箱に凹み等の損傷があるかないか確認をしてください。
目立つ損傷があるようでしたら、運送業者或いは最寄りの販売店へお問い合わせください。
 - ・全ての(細かい)梱包を取り出してください。
 - ・全ての内容品を注意しながら取り出してください。

点 検

- ・キャビネットにヒビ、凹み、キズ又は他の損傷があるか確認をしてください。
全ての内容品を同じ様に点検をしてください。

保 管

- ・湿気の無い所で本機を再梱包し保管をしてください。
- ・再梱包をした物の上に物を置かないでください。

本体の名称

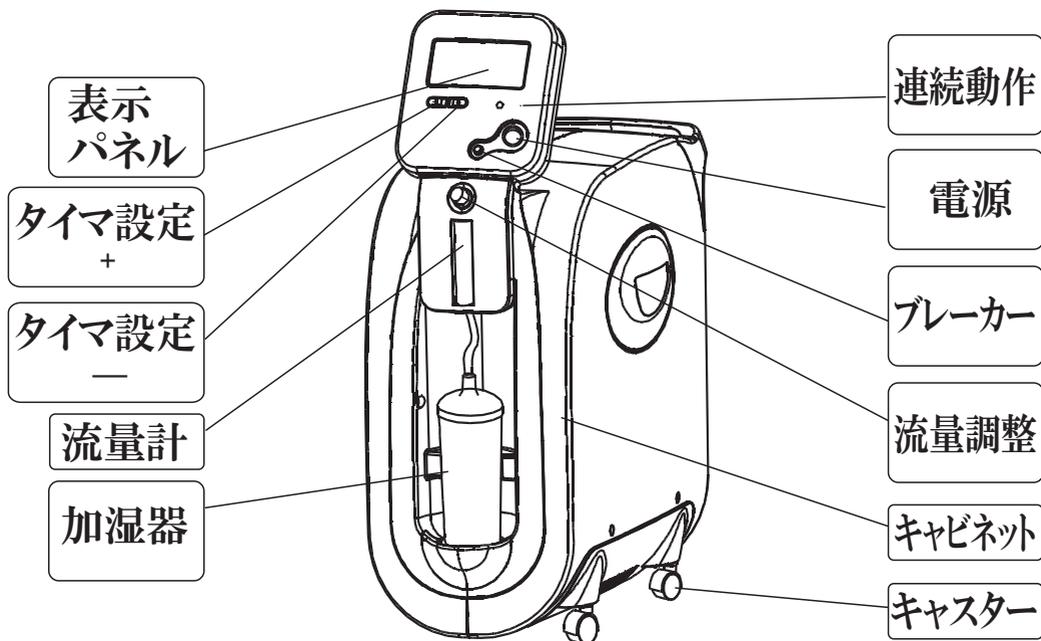


図2: 本体全体図

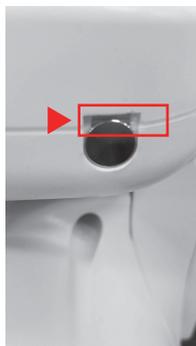
取り付けと使用方法

表示パネルの起こし方

1. (図3) の様に表示パネル左側にある、シャフトの頭のところに凹み (図4 表示パネル側) がありますので、そこへ (図5) の様に専用のツールを差し込みます。
注:無理に開くと破損します。



(図3) 表示パネル左側



(図4) 凹みがある



(図5) 凹みに専用
ツールを挿入する

2. 上記1で挿入した専用ツールを、(図6-2)の様(図6-1は悪い例です)にシャフトの頭に引っ掛け、矢印の方向(手前)へシャフトが出なくなるまで引っ張り、保持したまま表示パネルを起こします。(図7)



悪い例(図6-1)
シャフトが半分ぐら
いしかでていない



良い例(図6-2)



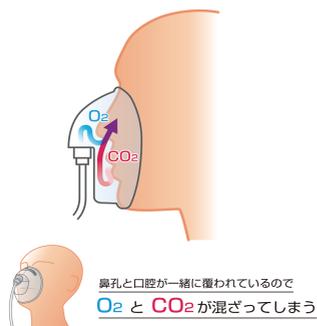
完成(図7)

取り付けと使用方法



上図の様に、酸素濃縮器に設置されている加湿器とマスクを、チューブを用いて直接接続させてください。

従来の酸素マスク



新型酸素マスク



呼気は 3800ppm の二酸化炭素 CO_2 を含んでいます。通常大気中の CO_2 は 400ppm 程度です。

吸気(酸素)と呼気(二酸化炭素)がマスク内で混ざらないように鼻部分と口部分の間に仕切りを設けています。さらにマスク下部を開放し呼気を排気しやすい設計となっています。

取り付けと使用方法



図8:加湿器全体図

事前準備

加湿器を左回りに回し外します。水道水を目盛りの所まで入れてください。右回りに回し、しっかりとはめ込んでください。

電源接続:電源スイッチが確実にOFFになっていることを確認してから電源にコンセントを挿し込んでください。

延長コードはご使用にならないでください。

酸素吸入手順

スイッチを” | ”にし、液晶に”HELLO”と表示され、緑色のランプが点灯したら正常に起動しています。緑のランプが1秒後に点灯し、その4秒後に液晶に累計使用時間とタイマー”- -”が表示されると、正常に作動します。

※乾燥が激しい場合を除き、水を入れて使用する必要はありません。

注:蓋をしっかり締めてください。
緩んでいると濃縮酸素が漏れて効果がありません。

取り付けと使用方法

- ・酸素流量調節ノブを回し「黒い玉」の中心に合わせます。左回りに回すと流量が増え右回りに回すと流量が減ります。その際に、細かい泡が発生し、酸素が酸素排出口から出て来ます。(図9)
- ・酸素チューブの一端を加湿器の酸素排出口に接続し、酸素チューブの他端を酸素マスクへ接続する。

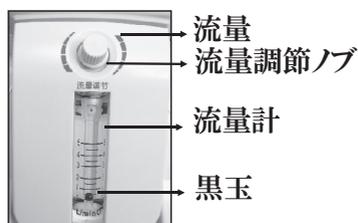


図 9

- ・加湿器から音がするようでしたら、チューブの中で詰まりが生じている可能性がありますので、綺麗に掃除をしてください。
- ・警告：万が一流量が0.5L/minを指すようでしたら、チューブか付属品の詰まり、曲がり又は加湿器の損傷が考えられます。

取り付けと使用方法

表示	説明	表示灯
I/O	正常に運転をしている:	緑色

タイマー設定

本機は、タイマー機能が付いており、00分～99分までの範囲で設定ができます。

- ・ 液晶が"--"を表示した時は、連続運転になります。
- ・ "+"を押すと、1分間隔で時間が増え、1.5秒以上押し続けると連続して時間が増えます。
- ・ "-"を押すと、1分間隔で時間がへり、1.5秒以上押し続けると連続して時間が減っていきます。
- ・ タイマーが"0"になると、自動的にコンプレッサーの電源が切れます。

終了操作

先ず、酸素マスクを外し、電源スイッチを切り、電源プラグを抜きます。

取り付けと使用方法

表示

表示	説明	表示	説明
～	交流電源		マニュアルを参照
	クラスII機能		ON(主機能へ接続)
○	OFF(主機能から切断)		ON(一部の機能へ接続)
	OFF(一部の機能からの切断)		天地無用
	禁煙		水濡厳禁
	壊れ物		

メンテナンス

- ⚠ 注意:まずコンセントから電源プラグを抜いてください。
感電を避けるためキャビネットを絶対に取り外さないでください。

キャビネットの清掃

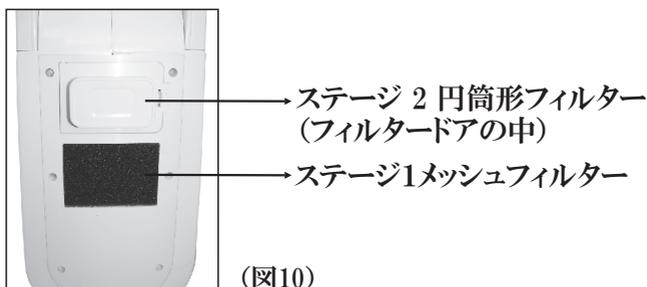
- ・キャビネットは月に一度は中性洗剤と摩擦の少ない布またはスポンジで清掃してください。

フィルターの清掃または補修

- 本機を長くお使いいただくためにフィルターの清掃または交換は定期的に行ってください。

- ⚠ 注意:フィルターが取り付けられていない状態で絶対に酸素濃縮器を使用しないでください。

- ・ステージ1メッシュフィルターは1ヶ月に1度清掃してください。(図10)



- ・ステージ2円筒形フィルター及び消音フィルターは1ヶ月に1度清掃してください。フィルタードアを開け、フィルターコーン及びフィルターコーンの中から消音フィルターを取り外してください。円筒形フィルターが黒く変色している場合は直ちに円筒形フィルターの交換または清掃を行ってください。

(図11、図12、図13)



図11 フィルタードア



図12 フィルターコーン



図13 円筒形フィルター

メンテナンス

加湿器の清掃

- ・加湿器ボトルの中の水は毎日取り換えてください。
- ・加湿器は1週間に一度は石鹼水で洗い、水と酢を10:1で合わせたもので洗い流し、そのあと温水でよく洗い流して水道水を加湿器の最大水位線まで満たしてください。
(注意:チューブのなかに細かい泡が残っていないか十分に注意してください。)
- ・一般的に1回の使用時間が30～60分位で、鼻孔に乾燥を感じない時は、加湿器に水をいれる必要はありません。

取り外し方法

- (1) ボトルを取り外します。(図14)
 - (2) チューブから引き抜きます。(図15)
- ・上部の蓋は、しっかり締めてください。緩んでいると、濃縮酸素が漏れて効果がありません。時々、緩んでいないかチェックしてください。



図14



図15

トラブルシューティング

症 状	考えられる原因	解 決 法	備 考
スイッチを入れても画面が付かないで起動する。	1)電源プラグがささっていない。	1)電源プラグをさし込む。	
	2)電気が供給されていない。	2)正しい電源を使う。	
	3)正しいプラグに挿さっていない。	3)延長コードを使わない。	専門家による修理
	4)ブレーカーが上がっている。	4)ブレーカーを下げる。	
	5)このような状態が続くようでしたら直ちに使用を止め、販売店へお問い合わせください。		
濃縮器が作動しているが、排出している酸素が少ないまたは排出されていない。	1)加湿器漏れ	1)最初から取り付け、しっかり閉める。	
	2)加湿器の安全弁が開いている。	2)安全弁を取り付け直す。	
	3)チューブの取り付けが緩い。	3)チューブを挿し直す。	
	4)酸素チューブが捻じれている又は、詰まっている。	4)交換する。	
画面に“LO”と表示されている。	1)酸素濃度が50%未満。	1)フィルターの清掃又は交換。	
	2)流量が3L/min以上。	2)電源を切りもう一度電源を入れ、流量を指示された量に調節する。	
	3)このような状態が続くようでしたら直ちに使用を止め、販売店へお問合せください。		
画面に“E1”と表示されている。	1)循環系の圧力が低い。	1)フィルターの清掃又は交換。	
	2)このような状態が続くようでしたら直ちに使用を止め、販売店へお問合せください。		

トラブルシューティング

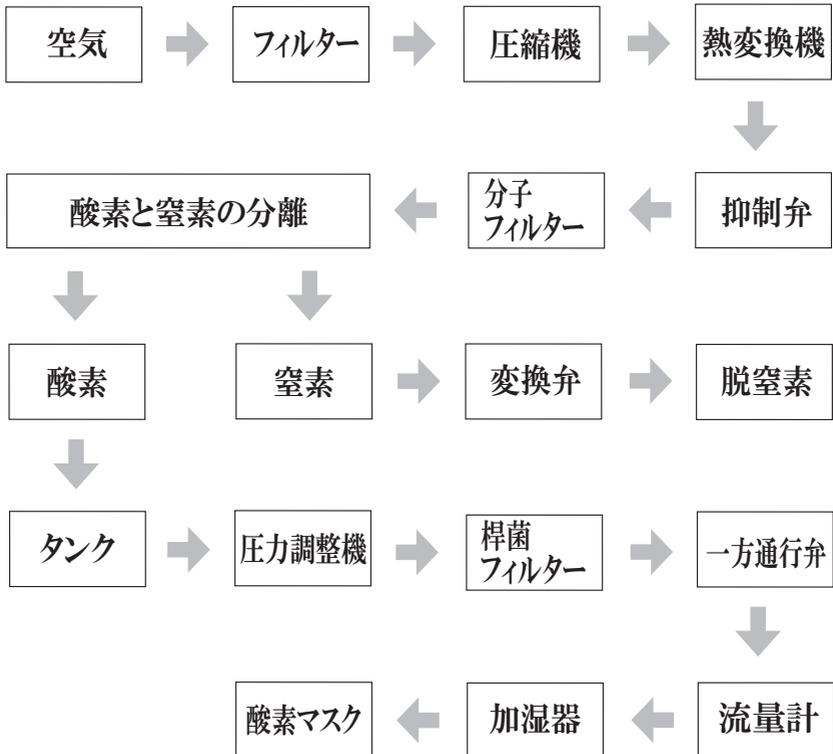
症状	考えられる原因	解決法	備考
酸素チューブの中に水蒸気もしくは泡が発生している。	1)熱排出がうまくできていないため機体の温度が上昇している。	1)本機を壁面から最低でも10cmは離し、他の障害となるようなものやヒーターから離してください。	
	2)加湿器内の水の温度が高すぎる。	2)冷たい水を最大水量を超えないように足してください。	
	3)加湿器内の水が多すぎる。	3)水量が最大水量と最少水量の間に来るようにしてください。	
	4)酸素吸引中に突然本機が動作を停止した。	4)酸素吸引を直ちに止め水分を出すために起動させてください。	
	5)本体に接続しているチューブが、折れ曲がっている時に突然停止した。	5)酸素チューブを伸ばす。	
	6)内部のファンが回転しないもしくは、回転速度が落ちて温度が上昇している。	6)a.ファンに詰まっている異物を取り除く。 6)b.ファンを交換する。	専門家による修理。



他の問題が生じた場合は、まず本機の電源を切り、予備の酸素ポンベ等を使い、直ちに販売店へお問い合わせください。

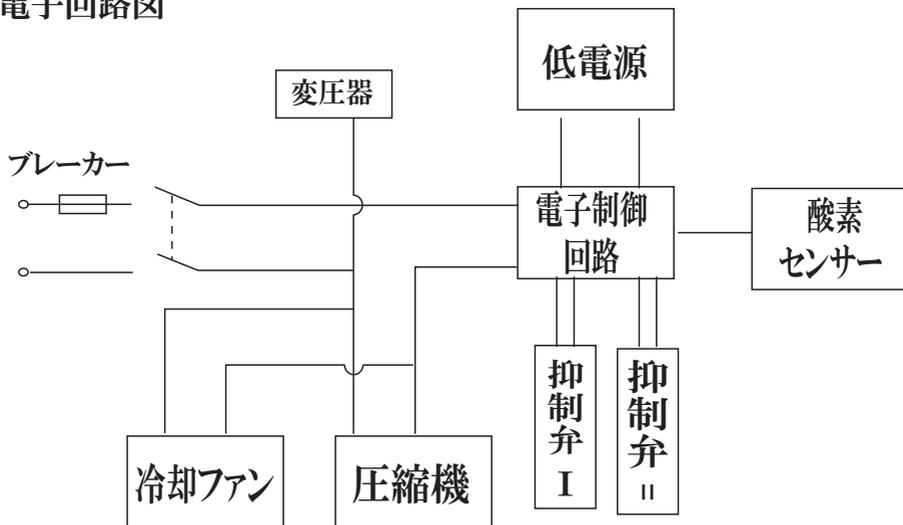
トラブルシューティング

気体の流れ方：



その他注意事項

電子回路図



付属品一覧

- | | |
|----------|----|
| 1. 取扱説明書 | 1部 |
| 2. カニューレ | 1個 |

内容品は予告なく変更される場合があります。

製品保証書

保証書

*法律に基づいて製品の保証を提供します。

*保証期間は3年間とし、一般家庭における通常使用による故障で製造上に過失がある場合に限り無償で修理を行います。

*この保証は、本製品を購入した国でのみ有効です。

*故障した場合は、お客様相談室にご連絡ください。

販売名	シェンペクス酸素濃縮器	お名前	
商品名	CFOC-F	ご住所	
シリアル番号			
保証期間	購入日から3年		
購入日		郵便番号	
購入場所		電話番号	

(購入後無償サービスを受けるためには、本製品の購入場所を必ず記入して確認をしてください。)

無償サービス

本製品の購入から3年以内に通常使用による故障に限り、無償でサービスを受けることができます。製品を商用目的(高頻度)で使用し、使用時間が8,000時間を超えた場合、有償にて修理を賜ります。

有償サービス

ご満足いただけるサービスを迅速に提供するために、サービスを依頼する前に以下の項目をご確認いただくようお願いします。以下の項目のサービスは有料となります。

- 一製品が100V以外のコンセントに接続されている場合。
- 一電源が正しく接続されていない場合。
- 一お客様が本製品を正しく設置しなかった、または本製品を正しく使用しなかった場合。
- 一消耗品部品
- 一誤った使用により故障した場合。
- 一自然災害(洪水、火災、地震、落雷、戦争等)が原因で故障した場合。
- 一不適切な環境で使用した場合。

注意が必要な事項

次のような製品の破損または故障はお客様の責任になります。

- 一お客様がむやみに修理または改造をして故障した場合。
- 一誤用、乱用または不注意により製品が損傷または破損した場合。

保証条件

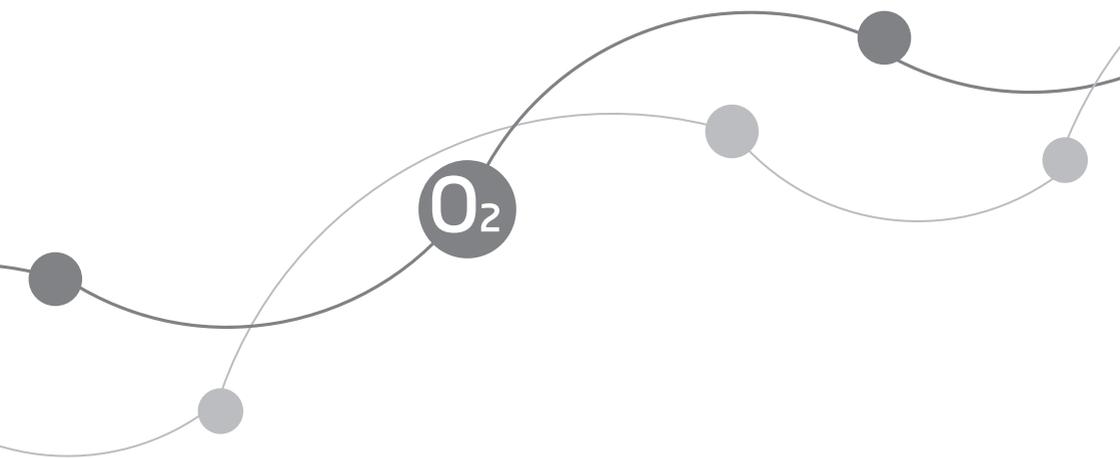
本保証書は、購入または契約の時点から適用されます。

本保証書は、製品の購入者に対してのみ有効であるため、最初の購入者からの譲渡により本製品を入手した方は保証の対象外になります。

酸素濃縮器 CFOC-Fの製造、アフターサービスについて

世界中で使用される酸素濃縮器（医療用を含め）はほぼ全数が中国で生産されています。ヘルスリテが販売する酸素濃縮器CFOC-Fは弊社グループの医療機器製造・輸入会社が中国の医療機器メーカー（上場企業）から半完成品の状態で輸入し、群馬県前橋市の医療機器工場での品質チェックを行い完成品にして出荷しています。

従って万一の故障などアフターサービスはこの工場で行いますので安心してご使用いただけます。



製造販売業者：シェンペクス・インターナショナル株式会社
〒379-2146 群馬県前橋市公田町590番地

総販売元：株式会社ジーエムピージャパン
〒379-2146 群馬県前橋市公田町590番地



0120-19-7777

<http://www.gmp-japan.com/>

202006-0A

